

モビリティ・イノベーション・アライアンス

2022 年度

活動報告書

(概要版)

<目次>

第1章	はじめに	3
第2章	モビリティ・イノベーション・アライアンスについて	4
	（1）モビリティ・イノベーション・アライアンス設立の経緯	4
	（2）モビリティ・イノベーション・アライアンス設立の目指すもの	4
第3章	2022年度の活動	6
	（1）事業計画	6
	（2）活動について	6
第4章	2023年度の展望	12
第5章	おわりに	14

第1章 はじめに

2022年7月に設立された一般社団法人モビリティ・イノベーション・アライアンスの第1期（2022年7月1日～2023年3月31日）を無事に終え、このように活動報告を行えることを、賛助会員や関係省庁の方々等、本法人を支えていただいた関係各位に心より感謝申し上げます。

2022年度で終了してしまうSIP第2期自動運転の成果、その中でも総合知をもたらす分野横断・文理融合の学学連携の基盤と、またそこに立脚して年々太くなっていった国際連携のつながりを承継すべく設立された本法人にとって、第1期は、2023年度以降の本格始動に向けた準備期間ともいえる事業期間でした。

2022年秋に行われたSIP-adus Workshopでは、主催者に名を連ねるとともに、積極的にサイドイベントを企画・実施し、次年度に向けたアナウンスを行うなどの取り組みを図りました。

また、分野横断の人材育成の観点から、学生を主体に共創型のビジネスプランコンテスト、M-BICを企画・開催し、産学官の若手人材が、自動運転技術の社会実装の姿を議論する場を創り上げることに取り組みました。

加えて、本格的な活動開始に向けた法人としての体制整備も少しずつ進め、公式ウェブサイト運用、賛助会員の受け入れ開始等に取り組み、3月には本法人で取り組んでいく研究テーマの議論も開始することができました。

いよいよ、2023年度は、多くの分野の様々な立場の方々と、移動の革新を通して、我が国の、ひいては世界の生産性向上、人々のしあわせの実現を目指していきたいと考えています。どうぞ引き続き皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

2023年5月
理事長 天野 肇

第2章 モビリティ・イノベーション・アライアンスについて

(1) モビリティ・イノベーション・アライアンス設立の経緯

我が国では人口減・偏在、エネルギー問題、気候変動・災害激甚化等の課題がある中で、自動運転をはじめとする新たなモビリティの社会実装や多様なデータ連携・活用の実現を通して、生産性の向上、新産業創出、国際競争力の強化、人々の日々の生活における幸せの実現が求められています。

一般社団法人モビリティ・イノベーション・アライアンス（英語名：Mobility Innovation Alliance Japan）は、内閣府・戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第2期「自動運転（システムとサービスの拡張）」（SIP-adus）の取組みの一環として行われた、大学の学術関係者と公的研究機関等の連携体である「モビリティ・イノベーション連絡会議」の活動を引継ぎ、『移動の革新に関する技術開発や社会実装を起動する会員主導の団体』となることを目指して2022年7月に設立されました。

法人設立後、代表理事を中心に事業計画等の立案、体制整備の確立等を経て、2022年10月より本格的に活動を開始しました。

(2) モビリティ・イノベーション・アライアンス設立の目指すもの

モビリティ・イノベーション・アライアンスは、会員の学術関係者とともに、新たなモビリティの社会実装に向けた政策提言や、国際会議・ワークショップの企画・運営や海外研究機関との連携研究活動の調整、地域でのセミナーやアイデアコンテストの開催などの活動を通して、新たなモビリティの実現に寄与することで、社会経済・学術研究に貢献していきます。

具体的には、以下のような活動を行います。

- ・ 「モビリティ・イノベーション連絡会議」で構築した幅広い学術ネットワークを継承・発展させ、たとえば、二酸化炭素排出削減とエネルギー資源消費削減・転換に資する新たな持続可能なモビリティ社会の実現等に向けて、必要な政策・施策への提言、新たな分野横断的な学術活動・分野の提案等を行います。
- ・ 自動運転技術等を活用した新たなモビリティ社会の実現に向け、公共交通サービス分野などに自動運転技術を利用したビジネス・イノベーションを実現するための制度設計や規制緩和等、府省庁の枠を横断する政策・施策検討の取組み等を支援します。
- ・ 自動運転等、モビリティ関連分野の多様な研究者と、日本の中央・地方政府や民間企業、さらに海外研究機関等とを橋渡しするワンストップ窓口として機能し、産官学連携活動、政府間の国際連携活動、共同研究活動等を支援します。
- ・ SIP 自動運転の下で9年間、毎年開催してきたSIP-adus Workshopの取り組みを継承し、自動運転等をテーマとした、日本で開催する国際会議の企画・運営を行います。

- ・ 技術開発・研究のみならず、企業・行政から一般市民まで多様な層を対象に、新たなモビリティ社会実現に向けた社会受容性を向上し、その価値を高めて社会実装に繋げていくための広報・啓発活動を企画・推進します。
- ・ 若手人材の育成を狙いとした取組みの一つとして、自動運転技術を活用したビジネス・イノベーション・コンテスト（M-BIC）を主催します。

(3) モビリティ・イノベーション・アライアンスの概要

- ・ 団体名 一般社団法人モビリティ・イノベーション・アライアンス
- ・ 設立日 2022年7月1日
- ・ 所在地 〒153-8505 東京都目黒区駒場4-6-1 東京大学生産技術研究所内
- ・ 理事長 天野 肇（前 ITS Japan 専務理事、元東京大学客員教授）
- ・ 副理事長 須田 義大（東京大学モビリティ・イノベーション連携研究機構 機構長、教授）
- ・ 公式ホームページ：<https://mobilityinnovationalliance.org/>
- ・ 賛助会員 以下に示す会員種別が設けられており、各会員は会員種別に応じた活動を行っています。2022年10月より賛助会員の入会受付を開始し、会員数は2023年3月末時点で計16会員、5月22日現在で、計27会員です。

学術会員	特別会員	行政・事業者団体等会員
<ul style="list-style-type: none"> ●一般開放イベント・セミナー・講座等への優先的参加 ●web サイト・Newsletter を用いた会員専用情報の閲覧・受信及び発信 ●委員会活動への参加 ●学術会員向け研究課題・研究者紹介情報の受信 ●モビリティ・イノベーション連絡会議への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ●一般開放イベント・セミナー・講座等への優先的参加 ●web サイト・Newsletter を用いた会員専用情報の閲覧・受信及び発信 ●委員会活動への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ●一般開放イベント・セミナー・講座等への優先的参加 ●web サイト・Newsletter を用いた会員専用情報の閲覧・受信及び発信 ●委員会活動への参加

第3章 2022年度の活動

(1) 事業計画

2022年度は以下の活動目標を掲げ、(2)に示す活動を実施しました。

- ・ モビリティ・イノベーション連絡会議の活動を承継する
- ・ 新たなモビリティ社会構築に向けた政策、施策への提言を行う
- ・ 新たなモビリティ社会構築に向けた人材育成を行う
- ・ 新たなモビリティに関する広報活動を行う
- ・ 法人としての活動体制等の確立を図る

(2) 活動について

① モビリティ・イノベーション連絡会議活動の承継

2022年度は、SIP-adus 事業において開催され、国際連携、学学連携の役割を果たしてきたモビリティ・イノベーション連絡会議の活動（年度末で活動を終了）を承継するための取り組みを行いました。

具体的には、10月11日～13日に開催されたSIP-adus Workshop 2022に主催者の一員として名を連ねるとともに、10月10日には、日・米・欧で自動運転の開発・実用化を牽引してきたリーダーによるパネルディスカッション（Global Leaders' Panel）を開催し、過去10年間の成果、残された課題、将来展望について議論しました。また、10月12日のクロージングにおいて、今後の国際ワークショップ開催をモビリティ・イノベーション・アライアンスが承継していくことがアナウンスされました。

加えて、SIP-adus Workshop 2022に合わせて実施されたドイツ連邦研究教育省と日本側SIP-adus関係者との会合、及び欧州委員会と日本側SIP-adus関係者との会合に参加し、SIP-adus 事業において実施された国際連携研究活動に関し、SIP-adus 事業終了後もモビリティ・イノベーション・アライアンスが日本側窓口を承継していく方針につき確認しました。

10月4日及び12月26日に開催されたモビリティ・イノベーション連絡会議、及び2月8日に開催されたSIP-adus 国際連携WGに参加し、法人設立、設立後の活動、今後の活動方針等について報告を行いました。

3月27日には、モビリティ・イノベーション・アライアンスが主催する第1回モビリティ・イノベーション連絡会議を開催し、本法人で取り組む研究テーマに関する意見交換等を実施しました。

【第1回モビリティ・イノベーション連絡会議の概要】

日時：2023年3月27日（月）15:00-17:00

場所：東京大学生産技術研究所 Cw501 会議室＋オンライン

参加者：11大学27名

② モビリティ・イノベーション連絡会議と協力した政策、施策への提言

12月15日、会員有志により本法人で取り組む研究テーマに関する意見交換会（オンライン）を実施するとともに、12月26日および3月27日のモビリティ・イノベーション連絡会議においても本法人で取り組む研究テーマに関する意見交換を実施しました。

2月には、SIP第3期「スマートモビリティプラットフォームの構築」の研究開発計画案に対するパブリックコメント募集に対し、会員意見を募集・集約した上で、天野理事長名で意見を提出しました。

パブリックコメント募集へ提出した意見のポイント

- ・ 研究開発を進める上では、国内外への対外的な発信が重要
- ・ 特に国際標準への展開や他の国際連携場面での活用を目指す中では、研究実施の初期段階から、国際動向を常に把握し、発信・フィードバックを継続的に得ながら個別研究開発テーマの推進を図ることが重要
- ・ 継続的な国際連携が可能となる研究者間ネットワークを図ることが有益
- ・ SIP第2期自動運転のように、全体の国際連携窓口、調整事務局の機能を有し、内閣府・SIPのクレジットの下、各省庁の協力も得ながら、各研究開発テーマの専門家が、国際的な対外発信、ネットワークを図ることが可能な、専門家会合等の開催を行える国際連携の枠組みを構築して進めることが効率的
- ・ 政府間の活動においては、日独に加え、先方が新たな協力関係構築を希望している欧州委員会についても同様の取り組みが必要

③ 新モビリティ社会構築に向けた人材育成

総合知による新モビリティ社会構築に向けた、人材育成、ネットワーキング支援の取り組みとして、「モビリティを活用したビジネス・イノベーション・コンテスト（M-BIC）2022」を新たに創設し、東京大学モビリティ・イノベーション連携研究機構、同志社大学モビリティ研究センターとともに主催し、内閣府・デジタル庁の後援、民間企業・団体13者の協賛を受けて実施しました。

全国10校の大学・大学院・高専から参加する13チームの学生達は8月からはじまった4回にわたる勉強会を通して、自動運転の最新技術・法制度・民間企業の取り組み状況などについて学び、協賛企業や協力省庁からの参加者とともに、自動運転の価値やそれを活かすための方法について時間をかけて議論し、新たなビジネスプランを創り上げました。

10月10日にSIP-adus Workshop 2022の併催イベントとして開催された中間プレゼンテーションには、聴衆・参加者合わせて100名以上が参加し、各チームの「自動運転×建築」、「自動運転×エンターテインメント」、「自動運転×美容」といったビジネスプランに対して、様々な分野の審査員5名による熱のこもった問いかけやアドバイスが行われました。

12月10日に開催された最終審査会では、審査員および会場・オンライン合わせて110名以上の聴衆を前に、学生チームにより自動運転サービスを用いた未来のビジネスアイデアの最終プレゼンテーションが行われました。そして「新規性・進歩性」や「ビジネスとしてのフィージビリティ」、「社会や顧客の生活や体験がどのように変化するか、すなわち誰がどのように幸せになれるのかを具体的に描いているか」等の審査基準に沿って、審査員5名により審査が行われ、最優秀賞、優秀賞の受賞者が決定しました。また、特別協賛企業が独自の審査基準で選ぶ特別賞の受賞者も併せて決定しました。



2022年12月に開催されたM-BIC2022最終審査会の様子

さらに、2023年も「モビリティを活用したビジネス・イノベーション・コンテスト (M-BIC) 2023」を開催すべく準備・調整を進め、2月には開催告知を実施しました。

PRESS RELEASE


 一般社団法人モビリティ・イノベーション・アライアンス

モビリティを活用したビジネス・イノベーション・コンテストM-BIC 2023の開催が決定！今年のテーマは「自動化モビリティ」、エントリー受付は4月1日開始！

2022年にはじめて開催された「モビリティを活用したビジネス・イノベーション・コンテスト(M-BIC)」が、2023年にも開催されることが決定しました。

一般社団法人モビリティ・イノベーション・アライアンスが主催する本コンテストでは、「自動化モビリティを使って、社会をより良く、未来をより面白く」をコンセプトに、自動運転車やドローンなどの「自動で移動ができる」モビリティを、社会を革新するための手段と位置付け、それを活用したビジネスプランを競います。単なる収益性だけでなく、「社会や顧客の生活や体験がどのように変化するかを具体的に描けているか」といった切り口でもアイデアが評価されるのが本コンテストの特徴です。

また、参加学生チームは、複数回のワークショップの中で、他チームや関係企業・省庁からの参加者と共に学び、議論をしながらそれぞれの提案を磨き上げて最終審査会を目指す、共創・競争型のユニークなコンテストです。本コンテストのエントリーは公式ウェブサイト (<http://m-bic.jpn.org/2023>) 上で4月1日に開始される予定であり、それに先立ち、関連情報の提供を受けられるプレエントリーが2月1日に開始されています。



2023年2月に実施した告知（抜粋）

M-BIC2023の公式ウェブサイト：<http://m-bic.jpn.org/2023/>

④ 新たなモビリティに関する広報活動

法人の活動戦略へ反映させることを念頭に、新たなモビリティに関する情報発信及びフィードバックの収集を行うべく、2022年度は特に、多様な機会における本法人設立の情報発信と、ウェブサイトでの本法人の活動に関する情報発信を中心に、以下の活動を実施しました。

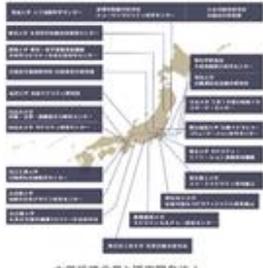
多様な機会における情報発信
<ul style="list-style-type: none"> ・ SIP-adus 自動運転試乗会におけるポスター展示 (9/29-10/1) ・ 内閣府 SIP 推進事務局によるプレスリリース発出への協力 (9/29) ・ SIP-adus Workshop2022 会場におけるポスター展示 (10/11-12) ・ 東京大学生産技術研究所主催フォーラム「「もしかする価値観」との出会い—STEAM と D&I から広がる地平線—」ポスターセッションへ参加 (11/2) ・ Transport Research Arena, Invited Sessionでの本法人の概要紹介 (11/15) ・ SIP-adus 最終報告書での当法人概要紹介広告の掲載 (12/26) ・ 日本自動車新聞社からの取材依頼の対応 (2/16) ・ SIP-adus 最終成果発表会における本法人の概要・活動等のポスター展示・説明及び説明資料の配布 (3/7-8) ・ ITS 推進フォーラムにおける本法人の概要・活動等の発表 (3/9)
ウェブサイトにおける情報発信
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本法人公式ウェブサイトの公開 (2022年7月) ・ 12件の「News」を掲載 ・ 会員専用ページの開設、情報発信の開始
その他
<ul style="list-style-type: none"> ・ 会員向けニュースレターの発行 (2回) ・ M-BICに関するプレスリリース (4回)

アカデミア連携による多様な分野の知見を活用する総合知の結集

自動運転の研究開発において、多様な分野のアカデミアの知見を集約する取組を推進し、確実な社会実装を支援します。
技術のみならず法律、経済など多様なバックグラウンドを有するアカデミアが結集することにより、自動運転の社会実装が実現するとの認識の下、各大学・研究機関による相互の情報交換・意見交換・連携等を推進するため、2018年10月より「モビリティ・イノベーション連絡会議」における活動を開始しました。

モビリティ・イノベーション連絡会議のメンバー

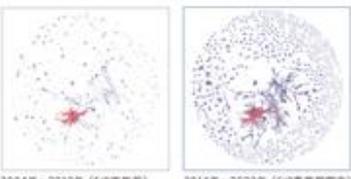
全国23大学と4つの国立研究開発法人等から構成



大学組織委員と研究開発法人

自動運転の研究動向分析

SIP-adusの期間(2014年～2022年)に、本文に「自動運転」と「車両」の単語を両方含む文献の件数は増加し、研究者の共著のネットワークは拡大



2004年～2012年 (SIP実施前) 2014年～2022年 (SIP事業期間)

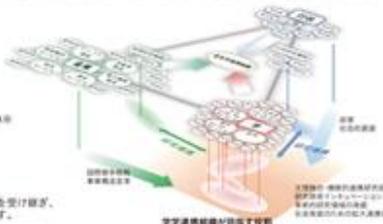
※モビリティ・イノベーション連絡会議を通じて実施した調査で自動運転に関連する研究を実施していると回答した研究者。
※本分析ではStage APIを利用して取得した文献データを利用。

一般社団法人モビリティ・イノベーション・アライアンスの設立

SIP-adusの下で構築したモビリティ・イノベーション連絡会議の枠組みを承継し、「移動の革新に関する技術開発や社会実装を駆動する会員主導の団体」を目指して、2022年7月に一般社団法人、モビリティ・イノベーション・アライアンスを設立しました。

【活動内容】

- 文理融合の学術ネットワーク承継・発展
- 分野横断型政策や取組を検討・提案「モビリティ・イノベーション連絡会議」を承継
- 多様な産官学連携機会を生み出すワンストップ窓口
- 国際会議の企画・運営を通じた国際連携研究の促進 SIP-adus Workshopを継承
- 研究・技術開発を社会の行動変容へつなげる広報活動等
- 若手人材の育成を狙ったコンテスト等の開催



学術連携組織が担う役割

※本法人は、SIP-adus Workshop 2022(2022年10月に京都開催)を内閣府、NEDO、明治社大と共催しました。今後は、SIP自動運転のネットワークを受け継ぎ、モビリティ・イノベーションに関わる新たな国際会議の日本開催を企画・運営していきます。2023年は11月東京3日に東京での開催を予定しています。

2023年3月にSIP-adus最終成果発表会で展示・説明したポスター

⑤ 法人としての活動体制等整備

法人としての今後の活動体制を確立するために、以下の取り組みを行いました。

法人としての体制整備、運営
<ul style="list-style-type: none"> ・ 設立登記、法人名の商標登録 ・ 理事会の開催（3回）、臨時社員総会の開催（2回）による各種規程類整備、理事の追加選任（1/1）
ウェブサイトにおける情報発信（再掲含む）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本法人公式ウェブサイトの公開（7/30） ・ 会員専用ページの開設、情報発信の開始（3/18） ・ 会員向け Newsletter の配信開始（3/24）
賛助会員の入会受け入れ
<ul style="list-style-type: none"> ・ 賛助会員の入会受け入れ開始（10/28）

第4章 2023年度の展望

2023年度は、以下の活動目標を掲げ、賛助会員及び関係省庁等と協力して、新たなモビリティ社会に向けた課題の解決に取り組んでいきます。

- 1) モビリティ・イノベーション連絡会議における文理融合学術ネットワークを構築・発展させる
- 2) 分野横断型政策や取り組みを検討・提案する
- 3) 多様な産学官連携機会を生み出すワンストップ窓口として活動する
- 4) 国際会議の企画・運営を通じた国際連携研究の促進を図る
- 5) 研究・技術開発を社会の行動変容へつなげる広報活動を行う
- 6) 若手人材の育成を狙いとしたコンテスト等を開催する
- 7) 法人としての活動体制等の強化を図る

具体的には、2023年度は以下のような取り組みを計画しています。

- ① モビリティ・イノベーション連絡会議における文理融合学術ネットワーク構築・発展
 - ・ モビリティ・イノベーション連絡会議の開催
 - ・ 委員会活動による取り組み研究テーマ、国際連携に関する議論の場づくり
 - ・ 会員拡大に向けた働きかけ
- ② 分野横断型政策や取り組みの検討・提案
 - ・ SIP 第3期等の新モビリティに関する政策、施策に関する情報収集及び会員への情報提供等、提言に向けた検討
 - ・ 委員会活動による取り組み研究テーマ、国際連携に関する議論の場づくり[再掲]
- ③ 多様な産学官連携機会を生み出すワンストップ窓口として活動
 - ・ 現地視察会の企画・実施
 - ・ SIP 第3期等の政府事業の中の国際連携活動で、ワンストップ窓口の立場での貢献の模索、あわせて、産学官のネットワーキング支援
- ④ 国際会議の企画・運営を通じた国際連携研究の促進
 - ・ Mobility Innovation Week Japan (11/13-17) の創設、関係者調整
 - ・ Mobility Innovation Workshop (11/14-15) の企画・開催
 - ・ 国際会議等での情報収集現地視察会の企画・実施

- ⑤ 研究・技術開発を社会の行動変容へつなげる広報活動
 - ・ 活動報告会の開催（5/30）
 - ・ 各種会議・イベントへの参加を通じた本法人取り組みに関する広報
 - ・ ウェブサイトにおける本法人概要に関する情報発信
 - ・ Newsletter の発行による賛助会員向け情報発信・共有
 - ・ 2023 年度活動報告書の作成、情報発信

- ⑥ 若手人材の育成を狙いとしたコンテスト等の開催
 - ・ 「モビリティを活用したビジネス・イノベーション・コンテスト 2023」の実施

- ⑦ 法人としての活動体制等の強化
 - ・ Newsletter の発行による賛助会員向け情報発信・共有 [再掲]
 - ・ 各委員会活動の本格開始
 - ・ 会員拡大に向けた働きかけ

第5章 おわりに

一般社団法人モビリティ・イノベーション・アライアンスは、SIP-adus のレガシーを承継することを目的として、2022 年度に法人としての登記・運営体制の確立が図られました。また、10 月に開催された SIP-adus Workshop 2022 では、広く国内外の関係者へ法人設立の周知が行われ、賛助会員の募集も始まったところです。

2022 年度は、本報告書にとりまとめたとおり、「SIP-adus Workshop 2022」への参画、「M-BIC2022 の主催」「法人としての体制確立・整備」を中心に取り組んできました。

2023 年度は、2022 年度の取り組みを足掛かりに、「モビリティ・イノベーション連絡会議」の開催による文理融合学術ネットワークの構築・拡大、及び分野横断型政策提言に取り組めます。また、11 月には「モビリティ・イノベーション・ウィーク」を企画・運営する中で、国際連携研究活動についても承継・拡大を図ります。人材育成の面からは、M-BIC2023 を主催し、ワークショップを通じた学生・企業・省庁それぞれからの参加者間ネットワークを図る、共創型の取り組みを進めます。

より多くの、多様な分野のアカデミア、企業等が賛助会員として参加してもらえるよう広報、働きかけを行うとともに、『移動の革新に関する技術開発や社会実装を起動する会員主導の団体』を目指した組織運営を、会員の皆さんとともに進めていきます。

引き続き、関係の皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

モビリティ・イノベーション・アライアンス 2022 年度 活動報告書 (概要版)

発行日 2023 年 5 月 22 日

事務局 一般社団法人モビリティ・イノベーション・アライアンス
東京都目黒区駒場 4-6-1

<https://mobilityinnovationalliance.org/>